

8月12日のバドミントンの代替大会では藤本(3年)中岡(2年)ペアが赤松(3年)岩本(3年)ペアに勝って優勝。取材記事が神戸



8/13 神戸新聞
運動面

新聞に掲載されました。全国大会を目指すペアとして、学校としては団体として村野工業を目標としてきただけにその悔しさをここにぶつけた、そして後輩たちにその思いを引き継いだという内容の記事でした。元気よく思いのこもった試合をしてくれたことを嬉しく思います。(翌日の個人も藤本、赤松で決勝を戦い藤本が優勝との記事が掲載されていました。)3年生の皆さん、お疲れ様でした。そして今後のバドミントン部の成長に期待です。

さて、本校が関係する代替大会はここで一応の区切りがつけました。大会関係者の方々の努力のおかげで無事ここまで来られたように思います。ありがとうございました。一方で感染拡大は、大学の運動部寮や部活動でクラスターになるなどまだまだ気を許せる状況ではありません。本校でも寮があるので十分に気を付けなければなりません。高校生の感染は家庭内での感染が多くなっています。繰り返しになりますが一人一人の

意識を高め感染防止に努めることしかできません。また、新型コロナ感染拡大防止については、8月6日文科省から学校の新しい生活様式 vol.3が出され、各個人での取組が重視されるようになってきています。使用した場所の消毒というよりは、個人が手洗い、消毒をしっかりとするという方向になってきています。また物の消毒もアルコールでなくても家庭用洗剤でよいということで、清掃をしっかりとすることで継続性を保つように指示されています。学校内でも寮でも共有する場所や物を使用する前の手洗いや消毒の励行を進めることで感染防止対策を取ります。3密(密閉、密集、密接)を避けることはもちろんですが、密を感じる場合はマスクの着用と熱中症対策も考慮されてきています。確かにマスクを着用したままでは、顔周りが暑くなるので熱がこもりやすくなります。ただ人と話をするとき(特に室内で)はマスクの着用は必要かと思います。地面や床に落ちたウイルスは長くは生きられないようなので、帰宅したら家に入る前にまず払い落とし、すぐに更衣をしてシャワーを浴びたりなどすれば感染予防にはなるようです。着替えたものは洗濯をすれば大丈夫のようです。万が一感染が発覚したとしても、保健所等への連絡をしつつ、その指示を待って濃厚接触者が特定され検査を受けるという手順、検査結果によってその後の臨時休業等の措置は変わりますが、保健所や県教委との相談の結果を踏まえての対応となります。検査は唾液によるもので(一部鼻での検査もあり)、濃厚接触者や検査を受ける人の特定は保健所が決めるようです。その結果が出るまでの2~3日間が対象クラスの臨時休業となるようです。その範囲は相談して決められるとのことで、検査結果によっても学級閉鎖となるのか、部活動の範囲だけになるのか、その範囲や臨時休業の期間も決まるようです。神戸阪神間の学校とは感染状況を見ても、本校の位置する北播磨とは通勤通学状況(混雑する公共交通機関利用と自転車・バス主体の地域差)も違うので、感染防止対策の緊張感も同じ県内でも随分違うと思いますが、私たちも緊張感を持ち続けなければならないと思っています。よろしくお願いします。

野球部は選抜大会に向けた予選がスタートしました。1回戦は淡路三原高校と対戦し5-1で勝利。次回、加古川南高校との対戦に勝利すれば県大会出場が決まります。去年は敗者復活に回った苦い経験もありますので、すっきりと決めて県大会の準備を進めてほしいと思います。暑い時期だけに集中力を維持できるよう頑張ってください。

昨年度全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の事務局を務めた本校ですが、今年度富山で行われる同大会がWEB開催となり、感謝状が贈られてきました。事務局長徳平先生宛の感謝状です。(写真右)本来ならば、富山県に行き、同大会を見学し最終引き継ぎを行い、その際に表彰していただく予定でしたが、富山県での開催ができず、贈られてきたということです。あれから早1年たったのかと思うのと、3年がかりでの準備だけに富山県の皆さんの残念な気持ちを理解しつつ、社高校として事務局校を務めることができ本当に良かったという安堵の気持ちとが入り交じりました。徳平先生おめでとうございます。



そして週明けからはいよいよ2学期。加東市内の小中学校はすでにスタートを切っているようですが、暑い最中でのスタートとなりますので体調の維持管理に努め、良いスタートを切って充実した2学期にしましょう。